

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	給食室等改修事業			会計	款	項	目	大	小
政 策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	教育総務課				
施 策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	長橋 祐之				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	小中学校の給食関係職員	意図	施設及び設備の大規模な改修による給食を安全に提供できる施設・設備の維持・保全
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 給食施設及び設備の大規模な破損、不良個所の修繕 床面の改造、給水・給湯管の布設替え等 			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> 主に小破修繕で対応できない規模、内容について対応 改修箇所数や規模が増加、増大傾向にある。 労働安全委員会からの労働環境改善のための施設、設備改善の要請も増加 			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		改修施設数	3	1	1	件	
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・改修要請について、技術的、衛生、労働安全の各側面での検証、計画の実施が必要。 ・根本的な改造が、実施できない状況下における改修可能内容は限定的である。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		5,313,604	1,361,370	1,218,185			
事業費（b）（円）		5,166,000	1,291,500	1,080,000			
うち一般財源		5,166,000	1,291,500	1,080,000			
職員給与費(c)(円)		147,604	69,870	138,185			
人役・職員(人)		0.02	0.01	0.02			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)		0.01					
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト（円）（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H26)の改善計画	小破修繕で対応できない不良個所について、長期休業（夏休み）に改修を実施する。
今年度(H26)に実施した取り組み	給食室の給水管改修を行った。

取り組みの課題	老朽化及び施設の時代遅れが進行している。対症的な対応については、限界に近い。引き続き都市ガスへの切替による光熱水費を削減する必要がある。
今後の改善計画	事後保全から予防保全への切替を目指し、計画的な維持管理を実施していく。